

ペットと暮らす毎日



なくならない動物のフン



秋晴れの空の下、涼しい風を心地良く感じながら外を歩いていると、目にとまる動物のフン……。これでは、せっかくの爽快な気分も半減してしまいます。しかし、残念ながら福岡県ではこういった声が多く寄せられているのです。

ペットが散歩中にフンをするのは当たり前前、それを自分できちんと処理できないのも当然のことです。どんなに科学が進歩しても、動物は自分でフンを拾うことはできません。ペットの尻ぬぐいは、飼い主の責任なのです。また、動物は、エサを食べたら近くで排せつをします。野良猫などにエサ

飼い主にとっては安らぎを与えてくれる存在のペットも、マナーを守らなければ、周囲の人に迷惑をかけることとなります。役場には、毎月のように犬や猫に対する苦情が寄せられています。これらのトラブルは、飼い主次第で解決できる問題がほとんど。ペットが人と共生し、地域の中でも愛されながら生活するために、飼い主は、最低限のルールを守る義務があります。

をあげている人は、フンの後始末のこともきちんと考えてください。捨ったフンはニオイが出ないように密封し、燃えるごみとして処理しましょう。

放置されたフンのその後



放置されたフンは、自然と土に返るとか肥料になると勘違いしている人が多いのですが、じつは、土や砂に同化するまでには、かなり長い時間がかかります。また、フンの中にはサルモネラ菌などの病原菌や寄生虫の卵などが含まれていることがあり、それらの悪い菌は、目には見えなくてもなかなか死にません。寄生虫が含まれたフンが

水や植物を汚染し、人間が口にすると、体内で幼虫になり、長い年月を経て機能障害を起こすこともあります。特に公園などは、幼い子どもが訪れる機会が多い場所。何も分からず、口の中に入れてしまう危険性も十分あります。あなたは「このくらいなら大丈夫」「面倒くさい」という軽い気持ちで、ペットのフンを放置していませんか。



↑10月15日、コスモス診療所横にフン害防止看板を設置。飼い主一人ひとりの自覚と責任が欠かせません。

繋ぐことが愛情の証



犬を外で放すと、どこでフンをしたか分からなくなるうえ、車との接触事故や咬傷事故を起こすことにつながりかねません。そうなるに当然、飼い主が管理責任を問われることとなります。このようなことから、福岡県では犬を外で放すことを条例で禁止しています。なお、猫はなるべく室内で飼育しましょう。

畜犬登録と予防注射を



犬の咬傷危害を防止するため、放さ

れている犬については、捕獲の対象になります。行政によって捕獲されると、飼い主が分からない場合は5日間の公示が行われ、それでも飼い主が現れない場合は福岡県動物愛護センター(古賀市)に送られ、処分されてしまいます。犬の飼い主の義務として、一生に二度の「畜犬登録」と年一回の「狂犬病予防注射」があります。万が一愛犬が捕獲された場合でも、きちんと登録し、鑑札を付けていれば、すぐに飼い主に連絡されます。まだの場合は早めに行いましょう。「狂犬病」はウイルス性の感染症で、発病すると、人間でも100%死に至る恐ろしい病気です。日本では50年ほど発生していませんが、世界に目を向けると、年間約5万人が狂犬病により命を奪われています。仮にウイルスが国内に入っ

てきても、日本の犬の約7割が予防接種をしていれば病気の蔓延を防ぐことができますと言われていますが、実際はその数に届いていないのが現状です。

共に生きる「社会の一員」



しつけは、来訪者や近所に迷惑をかけるないことはもちろん、飼い主とペットが互いに快適な共同生活を送るためにも必要なマナーです。今までペットは「家族の一員」だと言われてきましたが、現在ではわたしたちと共に生きる「社会の一員」。社会性身に付けさせ、飼い主にきちんと従うようしつけることが求められています。

※写真は町内で飼われている犬猫です。本文内容とは関係ありません。

犬猫と人間の標準年齢換算表

犬猫年齢	人間年齢	犬猫年齢	人間年齢
1か月	1歳	8年	48歳
2か月	3歳	9年	52歳
3か月	5歳	10年	56歳
6か月	9歳	11年	60歳
9か月	13歳	12年	64歳
1年	17歳	13年	68歳
1年半	20歳	14年	72歳
2年	23歳	15年	76歳
3年	28歳	16年	80歳
4年	32歳	17年	84歳
5年	36歳	18年	88歳
6年	40歳	19年	92歳
7年	44歳	20年	96歳

※種類によって若干の違いはあります。

かわいそうだと甘やかすのでなく、愛情を持ってしっかりとください。

むだ吠えや嘔みぐせは、小さい時に甘やかしたり放っておいたりすると、それが当たり前になってしまいます。悪いことをしたら、その場で口をおさえたり大きな音を立てたりしましょう。子どもと同じで、一度ですべては覚えられません。根気よく教えることが大切です。



ペット飼育コンサルタント 森京子さん(神崎)

ドッグショップ「ラフォーレハウス」代表。平成14年から6年間は、福岡県動物愛護推進員として活動。現在は柴犬、チワワなど26頭の犬を飼育している。

憤慨 すごいです！



今年役場に寄せられた怒りの声

河 川敷などにフンがまとも放置されています。草刈りの際にフンが飛び散り、とても不衛生です。人の身になって考えてください！

犬 の運動時、縄を外して運動させている者がおり、足元で吠えまくり大変迷惑である。猟犬のような犬に足元で吠えられ、飼い主は自転車先の方に行っており、どうすることもできず困ってしまう。嘔まれたら大変なので、犬の放し飼い、フンの処理を守らない者に対しては、厳しく指導してもらいたい。

田 んぼやあぜ道のフンは、稲などの農作物にも影響をおよぼし、不潔である。

犬 の放し飼いが多く、また、フン処理のビニール袋は一応持参しているが、パフォーマンスで実行していない。

飼 い主の良識を問う！、犬のフンに怒っています！気持ちよく歩ぎができません。なんとかしてください。

家 の前にいつもフンをしていく犬がいます。仕方ないので片付けますが、次の日にはまたフンがあります。よその犬のフン処理までとは言いませんが、せめて自分の愛犬のフンは片付けてください。自分も犬を飼っていますが、愛犬全体が世間からそんな目で見られると、過ごすらくなってしまうです。